

目的

令和6年3月16日の北陸新幹線敦賀延伸により関西からの観光利用が大幅に増加することを契機に、大糸線沿線エリアを目的とした誘客などの本格的な利用促進策を事業者や沿線自治体関係者が一丸となって実施

- ➔ 車による移動から公共交通による移動を大幅に増加させることにより、大糸線の利用価値を高め、地域と事業者の協働により、大糸線のバージョンアップを目指す。



具体的促進策

【令和6年度からの本格的な取組】（関係自治体等）

利用促進・利便性向上策

- ・旅行商品の造成  
沿線地域の観光資源を基にした着地型旅行商品  
京阪神エリア発着の旅行商品の発売
- ・デジタルチケットの造成
- ・プロモーション事業の実施  
「謎解きラリー」イベント開催  
キャンペーン告知等
- ・大糸線特設サイトの開設
- ・京阪神・北陸エリアの駅でのPRイベント開催
- ・糸魚川駅に停車する全ての北陸新幹線との接続利便性向上  
-ダイヤ改定及び列車増便の実現に向けた方策の検討  
-新幹線との接続を考慮したバスによる臨時増便（※）
- ・糸魚川駅発の列車の白馬駅までの乗入れの実現に向けた方策の検討
- ・二次アクセス整備 等

【R5までの取組】

- ・温泉施設を巡るスタンプラリー
- ・サイクルトレイン、  
観光列車「雪月花」の乗り入れ
- ・大糸線を活用したイベント助成 等



従来の取組を着実に実施するとともに、本格的取組を実施

※ 列車による増便が鉄道設備上困難であるため、バスによる増便を行うもの。